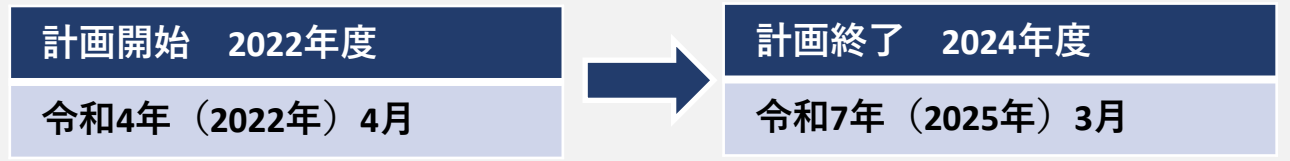


第1章 計画の策定 計画の策定の趣旨や具体的な計画期間等について

【改定の趣旨】

コロナ禍でのダメージ等が無い、通常的情勢に立脚している第2期中期計画では、昨今の至上命題ともいえるコロナ禍からの回復に対して、最も効率的な戦略・施策を打ち出せているとは言えず、一年前倒して改定を行うことにより、現在の状況を踏まえた計画を新たに策定し、素早く、効率的にコロナ禍からの回復または、コロナ禍の状況下に適した観光振興戦略・施策を立案するものとします。


【計画の期間】



新型コロナウイルス感染症によるダメージからの回復と新しい価値観下における観光市場への対応を急務と捉え、いち早く計画・方針に基づく明確な結果を求めることで、短いスパンでの回復と新しい観光の創造を目指し、3年間の中期計画を策定します。

第2章 観光の動向 滋賀の観光の特徴の分析と、観光課題の洗い出し。

【滋賀の観光の特徴】



Strength (強み)

- 琵琶湖をはじめとした豊かな自然や景観
- 豊かな歴史的・文化的資産
- 琵琶湖が育んだ文化や環境に対する意識
- 健康長寿を育む滋賀の暮らしや食
- 広域交通ネットワークの充実による県外からの恵まれた交通環境
- ビワイチ等の豊富なアウトドア系のアクティビティ 等

Weakness (弱み)

- 宿泊（閑散期）・滞在型観光の少なさ
- 来訪意欲につながる観光素材の認知度の低さ
- 滋賀県の観光の魅力を具体的に伝えられていない
- 観光素材が県内各地に点在している。
- 観光客を受け入れるおもてなし力
- 駅から観光地へ、観光地から観光地への公共交通の不便さ

【特徴から洗い出した観光課題】



第3章 組織 びわこビジターズビューローの特徴の分析と、組織課題の洗い出し。

【公益社団法人びわこビジターズビューローの組織の特徴】

Strength (強み)

- 滋賀県からの負担金、補助金が財源の大半を占め、財源面においては非常に安定した運営が図れている。
- 滋賀県、市町からの出向者が在籍し、行政団体との連携が図りやすい。
- 観光関連事業者を中心に、県下の多種多様な事業者が参画していることで他業種連携を取りやすい。 等

Weakness (弱み)

- 県費での活動が大半を占めるため、組織独自の取り組みが乏しい。また、組織独自の取り組みを行うための人的リソースが不足しがちである。
- 職員の4分の3程度が一時的な出向者や、雇用期間に定めのある職員となるため、事業運営等の知識の継承や、中長期的な方針の継続が難しい傾向にある。 等

【特徴から洗い出した組織課題】





第4章 基本目標

観光課題、組織課題を踏まえた基本目標について

【基本目標】

コロナ禍からのいち早い回復を目指し、従来の観光物産を取り戻すとともに、シガリズムをテーマとする新しい観光の創出に向け、滋賀の観光物産を強力に推進します。

【目標実現に向けての推進の視点】



連携 地域連携DMOとして、多様な主体と連携し、県域全体の観光魅力向上に取り組みます。

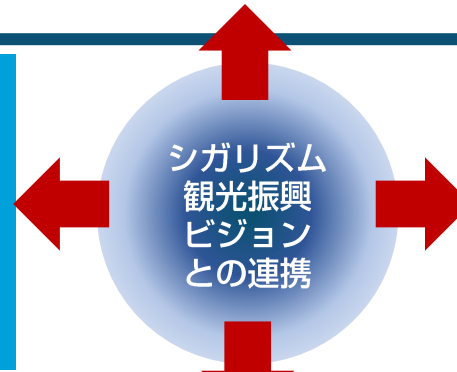
創出 時代に適合する観光地としての滋賀の価値を創出し、選ばれる観光地を目指します。

持続 ノウハウやデータを共有、分析し、SDGs、MLGsの視点から、持続的な観光地経営を目指します。

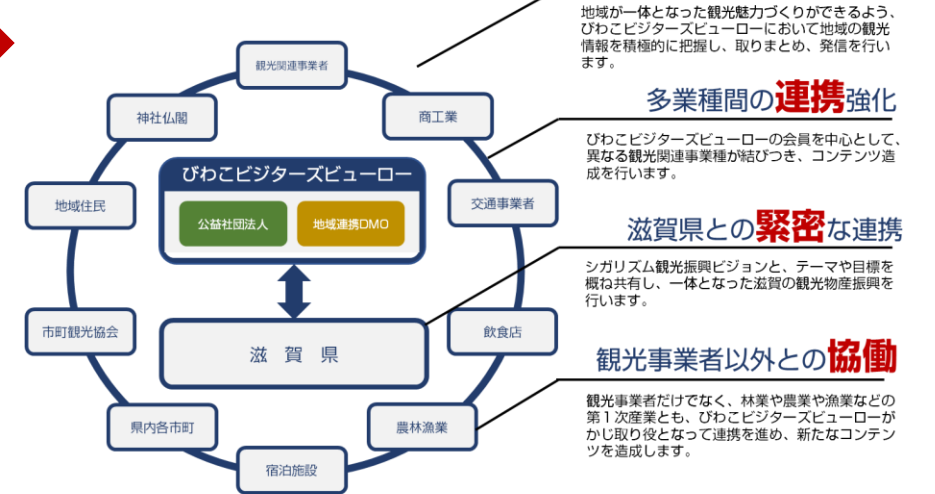
強化 取組の推進に向けて、下支となるびわこビジターズビューローの組織としての強化を図ります。

シガリズムの理念

「シガリズム」とは、「琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそろえ、ゆっくり、丁寧に暮らしてきた、滋賀の時間の流れや暮らしを体感できる、「心のリズムを整える新たなツーリズム」の総称です。また、ツーリズムだけにとどまらず、環境意識や近江商人の教え等の滋賀の「イズム」や、滋賀のゆったりした暮らし、滋賀の「リズム」などを合わせた、「滋賀ならではの」を表す言葉としても用います。



各主体の関係性



第5章 戦略及び施策

目標を達成するためのテーマ、テーマに沿った戦略、戦略に基づいた施策・事業

★重点テーマA コロナ禍からの急速で確実な回復

基本戦略1 コロナ禍からの着実な回復 主な事業：「今こそ滋賀を旅しよう」宿泊周遊キャンペーン事業

★重点テーマB シガリズムの推進

基本戦略2 魅力の向上と創出 主な事業：シガリズムコンテンツ創出事業、ワーケーション推進事業

基本戦略3 受入環境整備 主な事業：シガリズム観光人材育成・活性化事業、インバウンド関連事業

基本戦略4 魅力の発信 主な事業：シガリズムPR推進事業、観光物産PR推進事業

★重点テーマC DMO関連の取組強化

基本戦略5 多様な主体との連携 主な事業：日本遺産魅力発信事業、びわこキャンペーン推進協議会事業

基本戦略6 組織強化 主な事業：シガリズム創出データ活用推進モデル事業、DMO関連事業

びわこビジターズビューローの5つの部会が目標達成を下支えします。

国内旅行誘致部会

インバウンド部会

教育旅行部会

コンベンション部会

物産振興部会

第6章 成果指標

目標達成までの数値目標（一部抜粋）

指標	2022年度	2023年度	2024年度
延べ観光入込客数（人）	40,000,000	44,000,000	54,100,000
宿泊客数（人）	2,700,000	3,000,000	4,100,000
外国人宿泊客数（人）	40,000	200,000	350,000
観光消費額（総額）（億円）	1,500	1,800	2,139